

活動名：第2回福島民報杯岩根大会 U-12の部

日程：平成26年9月20日（土）～21日（日）

会場：本宮総合運動公園

参加：T6クラス 12名

帯同：設楽コーチ

報告：設楽コーチ

結果：優勝（6チーム参加）

○白沢 ○本宮 ○岩根 ○ブリジャン ○安積第三

この大会は岩根サッカースポーツ少年団さんが昨年から開催している大会ですが、この度、アーレ一般クラスに参加されている方が岩根のコーチをされており、募集チームに空きが出たことからお誘いをいただきました。

そのような経緯から初めて参加させていただいた大会でした。

スケジュールをお知らせしていましたが、予想以上に選手からご父兄たちまでが楽しめるほのぼのとした素晴らしい大会でした。

主催者として大会の準備は本当に大変です。チームを募り、協賛企業を募り、プログラムを作成し、会場を早朝から準備し、片付けを行う、大会開催には様々なことを準備しなければなりません。岩根さん関係者一同に心から感謝致します。有り難うございました。

招待されたチームは出場するだけで良く、今回も当たり前のような参加の気持ちや行動はしたくないと思い、参加した子どもたちには、この大会にアーレを招待してもらった経緯、招待して良かったと思われるようなプレーや行動を二日間しっかりと欲しいうことを伝えました。試合中は他のチームのお手本となるような「声かけ、乱暴なプレーはしない、しっかりと個人技を出し切る」プレーを心がけるように話をしました。



また、ガールズの6年女子たちも参加したので、ボールを試合中に預けないといったことも見られるので、技術レベルの差はあることを男女お互いに認識させ、男の子たちは試合中に女の子たちをサポートするプレーに心がけること、点をアシストする気持ちでプレーして欲しいことを伝えました。

とにかく、個々の技術は高い子どもたちなので、チームワークを大切にしたいと思い、試合中の声かけもお互いにモチベーションが上がる言葉をかけるように意識させました。



試合が始まるとシュートまではいくのですが、ゴール枠へ打つことができず、なかなか点が入らない状況で、焦りばかりのムードが悪くなっていきました。

私は審判役もあり、コーチングができず、子どもたちに内容を任せましたが、攻めているのに負けているチームのような状態でした。

外から激しくコーチが声をかけるのではなく、自分たちでその状況を乗り越えることも大事なので見守っていました。



結果的には、全試合において快勝でしたが、自分たちの思うようなサッカーができなかったような印象で、子どもたちも自分たちの実力はまだまだであることを感じたようです。

しかし、目標であった優勝を確実に獲得し、自分たちの栄光の思い出の1ページに刻むことができ、みんなで喜ぶことができた二日間となりました。



私は、常にみんながゴールを狙う気持ちを持って欲しいと思っています。良いゲームをしても、結果は得点で決まります。点を取るためには、センスも必要ですが、個々の気持ちが大変で、ゴールを常にどのポジションからも狙う、シュートを枠の中にしっかりと蹴り込むこと、適当ではダメだということを伝えています。

今回の試合でも「だいたい」といった適当なシュートが多く、気持ちが入っていないため得点に繋がりませんでした。しっかりとシュートを枠に蹴り込むイメージや狙う感覚を今後も練習で伝えていきたいと思います。

サッカーは点を取ることで、スターとして評価され、その活躍が認められるスポーツです。アーレの選手達も全員が次のステージで「スター」として注目されるよう「点取り屋」になってほしいですね。

今回は、お父さん、お母さんのご協力により PK 対決やお父さん達の試合もでき、ご活躍をされ、楽しむことができました。

家族でサッカーを楽しむことは、なかなかない機会でしたので岩根さんには感謝いたします。サッカーは見るだけではわからない難しさや楽しさがあり、今回はご父兄にとって良い機会でした。子どもたちへのサッカー評価も今後は「やさしく」なっていただけけるのではと思います(笑) 思ったところに蹴ることの難しさは、今回の PK 合戦で

は特に感じていただけたのではないのでしょうか？



お母さんたちはPK合戦で
見事 準優勝！！



お父さんたちは、新しいフォームで
気合い入ってました！！

